

柏ビレジ自治会便り

2016/3月号



柏ビレジ・ニュース

2016年3月19日
柏ビレジ自治会発行
自治会事務局(自治会館)
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <http://kashiwa-village.com/>

平成27年度を振り返って



会長 竹田 徹

私が昨年4月に会長に就任してから、はや1年が経とうとしております。長いようで短く、短いようで長い1年でした。

自治会の役員の皆様、事務局、子ども会の皆様、アドバイザー・サポーターの皆様、建築協定等諸団体の皆様、各種ボランティア団体・個人の皆様、民生児童委員・健康づくり推進委員の皆様、柏市をはじめ柏ビレジを取り巻く団体の皆様そして何よりも、「柏ビレジ自治会会員の皆様」の温かいご支援のもと、私は会長職を十分といえないながらも務めてこられたと深く感謝しております。誠に有難う御座いました。

本年度の自治会活動を振り返ってみますと、

- ①夏祭り、餅つき大会の開催等、例年行われているイベントにつきましてはほぼつつがなく実行されたと思います。しかしながら、11月の防災訓練については雨天のため止む無く中止となりました。災害時の対応は大変重要と考えますので、来年度は予備日を設け是がひとも実施したいと思います。
- ②環境問題については、冠水・湧水、水辺の公園の景観の維持並びに水質の浄化及び樹木の繁茂問題に積極的に取り組み、一部のボランティアの方の強力なご支援も頂きながら行政との交渉を行いました。既に解決済みの案件もありますが、未解決案件については引き続き対処して参ります。
- ③長年の懸案事項であったコンビニ誘致が実現しました。皆様の積極的な活用を是非お願いしたいと思います。また、第2ポンプ場跡地に「防災公園」を構築することが出来ました。憩いの場としての活用もお願いします。

まだまだ課題は多々ございますが着実に解決していく必要があると考えていますので、今まで以上に自治会員皆様の温かいご支援・ご協力をお願いして振り返りのご挨拶とさせていただきます。

第30回 田中地区 新春 凧あげ大会

秋冬事業部長
内藤 孝通

1月31日(日)水堰橋隣利根運河堤防で、田中地域ふるさと協議会主催の新春凧あげ大会が開催されました。



江戸時代初期に利根川は関宿で江戸川とに分流され、物資は利根川から関宿を経由し江戸川を通じ江戸に運ばれていました。しかし物流量が増えたことから明治20年に利根運河橋が設立され、明治23年に約10kmの一級河川を結ぶ国内初の西洋式運河が完成しました。当時船戸には通航料を徴収する収入所が置かれ、付近一帯は料理屋、食料品店、雑貨屋、回船問屋などが立ち並び賑わい、翌24年の舟運は年間約37,600隻もあったそうです。

昭和16年の台風8号により利根川が氾濫し、水堰橋付近の堤防を破壊し、運河の通航はほぼ不可能となり、洪水対策として利根川の水を江戸川に分水する名目で国に買収され、利根川からの水も断ち切られました。

平成18年には、土木学会が選奨土木遺産に、平成19年には、経済産業省が近代化産業遺産に認定されました。

そんな歴史のある利根運河での凧あげ大会にむけ、餅つき大会で子供たちに自由に描いてもらった絵を、凧名人の指導の下、竹を細工して骨組みを作り六角凧を二基完成させました。コンテストにエントリーし、出来栄審査の後に、凧あげとなりましたが、微風の為走る足を止めると落ちてしまいました。市販のビニール製の連凧は軽く、みごとに青空へ揚がり白く映えてました。

ふる協では無料で豚汁と甘酒が配布され、模擬店では焼きそば・焼き芋・焼き鳥等があり、快晴で暖かな中で他町会の方々と過ごせ、現在は閑散とした堤防ですが、明治から昭和初期に栄えていた運河の賑わいを感じた一日でした。



コンテストの結果は、賞は一つも取れず残念でした。他町会は干支の「申」やご当地キャラクターの「カシワニ」を絵柄に取り入れたり構成が素晴らしく、評価されてました。凧を二つ作るのであれば、一つは今まで通り子供たちに自由に描いてもらい、もう一つは絵柄を工夫した方が良かったと感じました。

今年度の行事も全て無事に終える事が出来ました。自治会員の方々、実行委員、サポーター、ビレジサポートの方々のご協力に感謝いたします。

柏ビレジ 餅つき大会

秋冬事業部長
内藤 孝通



新春恒例の「柏ビレジ餅つき大会」を1月10日(日)柏ビレジ近隣公園で開催致しました。今年も天候に恵まれ約2,000人の参加者で大いに賑わいました。

開始時刻の午前11時前には大勢の方が会場に集まり、穏やかな晴天の下、疾風太鼓の演奏で賑やかに開会致しました。樽酒の鏡開きでは、いい音はしたものの頑丈過ぎて割れず、自衛隊員の手を借りるといったアクシデントからのスタートでしたが、粒餡、漉し餡、きな粉の3種の餅、豚汁、海産品の販売と六角凧の絵描きと楽しい餅つき大会となりました。

例年全国的に餅つき大会による食中毒が発生するため、一時は開催が危ぶまれましたが、会長及び副会長が保健所に足を運び、餅つき大会の届け出も受理していただき、安全・安心を心がけ、餅の製造に従事しました。からみ餅を楽しみにされる方もいらっしゃいましたが、保健所の指導内容から今回は中止と致しました。

今回初めて餅切り機を購入し、熱い餅をちぎる負担の低減と大きさも均一にすることができました。子供会の方々の豚汁もカット野菜等を利用し、作業の低減を図りましたが、愛情たっぷり美味しく出来上がりました。豚汁は1時間半程で、3種の餅は2時間で終了しました。樽酒は会長と副会長に配布をしていただき、多くの方に行き渡りました。子供会の方々を含めると総勢70名以上のスタッフが速やかに餅や豚汁を提供しようと蒸籠蒸・餅つき・餡子ときな粉のまぶしを頑張ったのですが、お待たせし申し訳ありませんでした。

参加いただきました大勢の方々、そして大会運営にご協力いただきました自衛隊・子供会・ビレジサポート・サポーター・自治会役員皆様のご協力に感謝します。

